

川名康介県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

市町村の情報システム標準化

実情に沿った支援を



2月定例県議会予算委員会での川名康介議員の質疑

安心して住めるふるさとづくりに力を注いでいる川名康介議員(鴨川市・南房総市・安房郡選出、2期)は2月県議会予算委員会での質問に立ち、千葉県や地元の南房総地域が抱える課題について県担当者に尋ねました。複数の市町村がデジタルシステムを共有して事務が効率的に進むよう、現在、情報システム標準化が進められていますが、川名議員は県の支援について質問、また、団員の減少が目立つ消防団への若者の加入促進策を県の担当者に聞きました。川名議員の質疑と県担当者の答弁を紹介します。

2月定例県議会予算委員会

川名委員 県民がDX(デジタルトランスフォーメーション)を実感するためには、県だけでなく、市町村でもデジタル化を推進する必要があります。特に令和7年度

を目標準期とする情報システム標準化などは専門知識を有する人材不足に悩む市町村の課題と考えられる。県では令和4年度当初予算に市町村デジタル推進支

援事業を計上している。そこで、市町村が行う情報システムの標準化などを、どのように支援していくのか。デジタル・業務改革担当

実情に応じたきめ細かな助言等の支援を行ってまいり

課長 県では、情報システム標準化などについて、市町村ごとの進捗状況等を年3回程度把握することとしております。その際、民間のデジタル専門人材を活用しながら、市町村が抱える課題に対して、市町村の

有害鳥獣の被害軽減へ

狩猟免許受験機会確保の方策検討を

川名委員 有害鳥獣の被害が拡大しているが、その解決策の一つは捕獲の強化を図り、頭数を減少することと考える。捕獲の担い手となる狩猟免許取得者を増やすための試験が行われているが、令和2年度及び3年度の試験の実施状況はどうか。

自然保護課長 令和2年度の狩猟免許試験について

は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため、試験回数を元年度の年8回から年4回に縮小するとともに、1回の受験定員を最大120名から50名に減ら

し、抽選により受験者を決定しました。3年度は、感染防止に努めつつ、試験回数を年8回に戻し、1回の受験定員を60名として実施し、受験者

県職員の残業 年間187.2時間

令和元年度

川名委員 県職員の労働時間の短縮は職員の心身に渡る健康の保持増進、職員の士気にも大きく影響する。なによりも限られた職員を大切に取扱うことにつながる。そこで、過去5年間の職員の時間外勤務の状況と、業務量が増加した場合の対応状況はどうか。総務課長 知

事部局における直近5年間の職員一人当たりの年間平均時間外勤務の状況は、平成28年度の105.3時間から平成30年度の123.8時間までは、微増傾向で推移していましたが、令和元年度は187.2時間、令和2年度は181時間と大きく増加しました。令和元年度には台風等の大規模災害、令和2年度には新型コロナウイルス感染症や高病原性鳥インフルエンザへの対応などにより、業務量が増加しましたが、全庁的な人員の応援や再配置などを速やかに行い、職員の負担軽減を図っているところです。

要望 川名委員 市町村と一口に言っても規模にかなり大きな差がある。3回程度の把握が、各市町村にとって適当かどうかはそれぞれ異なると思う。支援は市町村の実情に寄り添うことが重要。弾力的かつ効果的な事業にしたいと要望する。

●県政と鴨川市、南房総市、安房郡への意見をお寄せください

川名康介 県議事務所
〒296-0001 鴨川市横渚1481-3
TEL 047-7092-1280 FAX 04-7096-5320

減少続く消防団員

若者の加入促進画策

川名委員 本県において、地域防災の中心的役割を担っている消防団員数が減少、令和3年4月1日現在、県内の消防団員数のうち、21歳から40歳までの若年層は約1万2600人、前年同期で約1000人減少している。

消防団員の拡充のためにはやはり20代から30代の若者の加入促進、それが必要と考える。

そこであらうが、令和4年度の消防団加入促進における若者向けの取り組み内容はどうか。

消防課長 若者向けの取り組みとしては、県内高校生に対する出前講座や、SNSへの広告の掲載などの取り組みを引き続き実施する。

川名委員 消防団加入促進のため、地域振興事務所の区域ごとに、どのような



県担当者の答弁を聞く川名県議

地域では、地域のイベント等において、現役の女性消防団員の活動体験の紹介などを行います。

このような加入促進の活動を、各地域の実情をよく知る地域振興事務所と市町村等が信頼関係を築きながら、連携して取り組んでまいり

取り組みを行っていくのか。

防災危機管理部長 大学の多い地域では、地域の学生が、学生消防隊と交流する機会や、一日入団体験を通じまして、消防団活動に関心を持ってもらうことにより、学生消防隊の新たな設立や消防団への加入の促進を図ってまいります。

また、女性団員が少ない

観光需要回復に全力を

川名委員 地域でとに実情が違うので、ぜひしっかりと取り組んでいただきたい。

魅力ある観光地づくり

川名委員 県では、魅力ある観光地づくりをどのように進めていくのか。

商工労働部長 県では、魅力ある観光地づくりに向け、トイレや駐車場などの整備の支援に加え、ライフスタイルの変化や団体の個人旅行へのシフトなどを踏まえ、新たな旅のスタイルであるワーケーションを促進するとともに、地域資源を活かした観光コンテンツの開発など

川名委員 県を支援してまいります。

川名委員 観光コンテンツ高付加価値促進事業のねらいは何か。

観光企画課長 本事業は、観光を取り巻く環境の変化を踏まえ、地域が一体となって観光コンテンツを開発する取り組みに対し支援すること、で「わざわざ行きたくなる」ような地域の新たな魅力を創出し、中長期的な観光需要の拡大につなげることをねらいとしています。

川名委員 有識者からなる審査会では、どのような観点から審査するのか。

観光企画課長 審査会では、「地域の特徴を十分活かした質の高い内容となっているか」「宿泊客の増加や観光消費額の拡大につながる内容となっているか」「将来

また、消防団員の拡充において、地域ごとと市町村の顔の見える関係構築し、取り組むことを要望する。

川名委員 今後の観光需要の回復に全力で取り組んでいただきたい。更に地域の魅力ある観光地づくりに引き続き取り組んでいただくよう要望する。

県管理道路の除草 年2回実施が原則

川名委員 県管理道路における除草の実施状況はどうか。

道路環境課長 道路の除草については、雑草の繁殖により見通しが確認できないなど、通行に影響のある箇所を優先し、できる限り年2回の除草を実施しています。

高潮対策で護岸整備 鴨川市東条海岸

川名委員 鴨川市東条海岸近くは鴨川シーワールド、大規模な宿泊施設、また基幹病院もあり、市にとって重要なエリアだが、高潮対策の進捗状況はどうか。

河川整備課長 事業区間約1.5キロのうち、多くの人が訪れる観光施設や宿泊施設がある約0.7キロの区間の護岸整備が完了しました。

川名委員 今後も整備を進めていただき、早期の完成を要する。

地すべり防止事業

県内6カ所で実施

令和4年度

川名委員 県地すべり防止事業の現在の取り組み状況と今後の見込みはどうか。

森林課長 今年度は、南房総市2カ所、鴨川市2カ所の計4カ所で事業を実施

しています。このうち2カ所については、年度内の完了を見込んでいますが、残

りの2カ所については、来年度の完了を見込んでいます。なお、来年度は、繰越となった2カ所を含め、計6カ所で実施を予定しています。

川名委員 南房総市丸山平塚地区における地すべり防止事業の現在の取り組み状況と今後の見込みはどうか。

森林課長 この事業については、渓流の浸食を防止する治山ダムを設置が昨年7月に完了したところで、現在は、その上部の斜面の安定を図るための山腹工事を実施しているところであり、来年度中の完了を見込んでいます。

川名委員 県地すべり防止事業における繰越の縮減に向けた対策はどうか。

森林課長 県地すべり防止事業は、今まで調査、測量、工事を同一年度で行うことを予定し実施してまいりました。しかしながら、地下水の影響が懸念されるものなど、事業によつては、工法の選定に時間を要したことが繰越の主な要因となっています。

このため、地下水の調査

が必要なか所については、調査を工事の前年度に実施し、次年度に測量と工事を実施することとし、繰越の縮減を図ったところで、

川名委員 計画と通り完了して初めて事業効果が発揮されるので、計画的かつ着実に実施されるよう、しっかりと対策を進めてほしい。